

19章 関係詞1

問題

【1】

A.

全訳

読書はスキーに似ている。上手くやれば、つまり熟達者がやれば、読書もスキーも優美で調和のとれた活動である。初心者がすると両方ともやっかいでうまくいかない、手間のかかる活動である。

スキーで重要なことは、もちろん、滑らかなターンや連結した一連のターンを成す個々の動きのことを考えながら滑るべきではないということである。これは読書においても同じである。文字や響きや単語を解説し、意味を見いだすなどの全ての付随的な行為を、多かれ少なかれ無意識に行えるようになった時に、読書という行為全体の習慣がつくのである。そうになった時に、①かつて自分には難しすぎると思った本を、読んでみようと思うことができる。最初、学習者は個々の行為において、自分自身と自分の技能に注意を払う。読書全体の技能においてそれらの行為の個性が消えた時に、②やっと学習者は、自分が得た技術によって到達することが可能になる目標に、注意を払うことができるのである。

たしかにうまく読めるようになるのは難しい。読書、とくに分析的な読書は、非常に複雑な——スキーよりもずっと複雑な——活動であるのみならず、もっと頭脳の活動でもある。スキーを始めたばかりの者は、後になれば忘れてほとんど無意識にできるようになる、肉体の動きのことを考えねばならない。③肉体的な動きについて考え意識することは比較的簡単である。分析的な読書の初心者がしなければならないように、頭脳の働きについて考えることのほうがずっと難しい。ある意味では、その人は自分自身の思考について考えているのである。我々のうちのたいていの者はそうしたことに慣れていない。④それにもかかわらず、自分自身の思考について考えることは可能だし、またそうする人は必ずはるかに上手に読めるようになるのである。

B.

全訳

きちんと看護すれば、患者は苦痛を味わうことなしに死ぬる。①一般に死と結びつけて考えられる、たいていの不愉快な症状と同じように、痛みを緩和することのできる技術を我々は利用することができる。②もし死が近づくにつれて肉体的苦痛が起こるとすれば、それはおそらく、痛みを和らげうるこれらの新しく開発された技術が用いられていないせいである。

C.

全訳

地球は、ほとんどすべてが比重の高い鉄、シリコン、酸素からできている。ほんの少ししかない水素は、すべて酸素と結びついて水を構成している。地球の生成過程で起こったことは、次のようなことだと我々は考える。地球の質量が非常に小さかったために、何十億年も

前に水素のほとんどは、とても軽いので宇宙空間へ逃げていったのである。

【2】

解答

- (1) 「全訳」の下線部①, ②参照。
(2) ① **d** ② **c**
(3) ③ **b** ④ **c**
(4) ⑤ **d** ⑥ **a**
(5) ⑦ through ⑧ from
(6) 日本の漫画は娯楽以上のものであり、日本人に自らの歴史を教え、社会にとっての指針ともなっている。
(7) 世界の諸問題を素早く、容易に解決するような方策が見つかるのではないかという希望。

解説

- (1) ①◇ mere = nothing more than 「単なる」
 ◇ kid = child
 ◇ stuff 「もの」
②◇ represent = stand for, symbolize
 ◇ the creativity Japan so often is said to lack
 ○ これ全体が represent の目的語。creativity のあとには関係代名詞が省略されていると考えて意味を取る。
 ○ 副詞句の so often をカッコに入れて考える。Japan is said to lack というつながり。
 ○ creativity = the ability to produce new and original ideas and things
 ○ Japan is said to lack は「日本が欠いている（日本にはない）と言われている」という意味。‘～ is said to V’ の形はよく使われるので、覚えておきたい。なお、この構文は、It is said that S + V の形に書き換えることができる。
(2) ③◇ just as many 「それと同じ数だけの」
 ○ この as many は the same number of の意味であり、あとに Japanese が省略されている。
 ④ ~ known as manga 「マンガとして知られる～」
(3) ⑤◇ grow (into) ~ 「(会社・国家などが(～に)発展する；発達する)」
 ◇ major 「主要な；重要な」
⑥◇ accounting for ~ = and account for ~ ‘付帯状況’を表す分詞構文。
 ○ account for ~ 「(ある部分・割合)を占める」
(4) ⑦ copy 「(本・雑誌などの)冊；部」
 ⑧ dozen：厳密には「1ダース」つまり「12(個)」だが、「約10個」という意味で使われることもある。
(5) ⑨ この which は a special door を受ける。関係代名詞を取って、この部分を独立した文にすれば、Doraemon and a human friend can visit any place they wish

through the special door. となる。

- ④ which は a magical pocket を受ける。独立した文にすれば, He produces ~ from the magical pocket. という意味のつながりになるから前置詞は from が入るのである。

全訳

何百万人もの日本人が、ドラえもんの冒険を楽しんでいる。ドラえもんは、22 世紀からやって来た青いロボットのネコで、自分の「4 次元」ポケットの助けを借りて、困難を逃れる。そして、それと同じくらい多くの日本人が、サザエさんと日々の生活を共にしている。サザエさんは、「典型的な」家族、磯野家を切り盛りする、血色のいい頬をした主婦である。今や、ドラえもんやサザエさん、そして、ほかのいくつかの漫画のキャラクターは、学者たちの注目も集めていて、漫画は単に現実逃避のためのエンターテインメントではないと言う学者や科学者によるベストセラーの研究が続々と生み出されている。漫画は、日本人に、自分の国がこれまでどういう位置にあってこれからどこへ行くのかを教えてくれる、歴史であり社会動向の指標でもある。

①日本の漫画がただの子ども用のものであったことは、今までに1度もない。日本の戯画芸術は8世紀にさかのぼり、漫画のような図画は寺院や神社を飾っている。豊かになった戦後の日本では、「マンガ」として知られる、大人・子ども向けの漫画雑誌と漫画本は、大きな市場に成長し、日本で売られるすべての出版物の約40%を占めている。そして、ドラえもんやサザエさんはマンガの王様と女王様である。1974年以来、44巻からなるロボットのネコのコミックスは7000万部以上売れていて、15本の映画が作られた。サザエさんは最初、1946年に福田新聞に掲載されたが、現在68巻ものコミックスが出ており、2500万部以上売れている。サザエさんのミュージカルも東京で上演された。両方のキャラクターとも、テレビの人気シリーズ番組になっている。

笠^{りゅうあきこ}章子氏は、ドラえもんの最も熱心なファンの1人である。30歳で東京に住む科学者の彼女は、子どもの頃、そのロボットのネコの漫画や映画を機会あるごとに必ず読んだり見たりした。今、彼女はドラえもんのファンでもあり、ドラえもん研究者でもある。最近、笠氏と何人かの同僚は、「ドラえもんの哲学とテクノロジー」を書いた。それは、ドラえもんのハイテク機器のうち24個について、科学的に詳細な分析をしたものである。その中の1つは、ドラえもんや人間の友だちが好きなのところへどこへでも行ける特別なドア、「どこでもドア」である。

笠氏はまた、ドラえもんの「4次元ポケット」にも魅力を感じている。それは、人間の親友、のび太君を数々の困難から助け出すために必要な、すばらしい道具を何でも取り出す、魔法のポケットである。笠氏は、そのポケットはとても魅力的だ、なぜなら②ドラえもんの4次元ポケットは、日本に欠けているとしばしば指摘される創造性を象徴するものだから、と言っている。ドラえもんは22世紀から来た時間旅行者として、日本のハイテク力は、単に戦後の高度経済成長のための原動力にとどまらず、それ以上のものになるかもしれないという希望を持たせてくれる。つまり、日本のハイテク力は、今世紀においては無理だとしても、来世紀には、世界が抱える問題を解決できるかもしれないという希望である。ドラえもんは「すべての人類が持ちたいと夢見ているもの」を持っている、と笠氏は言う。これなら、

どんな困難な状況でも素早く簡単な解決策になる。

注

- ℓ. 1 ◇ millions of ～ 「何百万（人）もの～；多くの～」
 - million は「100 万」
 - cf. thousands of ～ 「何千もの～」
 - hundreds of ～ 「何百もの～」
- ℓ. 2 ◇ escape = avoid
 - 「逃れる」だが, escape from ～ との違いに注意。例えば, escape prison は「刑務所入りを逃れる」, escape from prison は「脱獄する」という意味である。つまり, escape は「先手を打って逃れる」というニュアンスである。
- ℓ. 3 ◇ day-to-day 「日々の」
 - ◇ rosy-cheeked
 - rosy は「血色のよい」, -cheeked は「～な頬をした」という意味。全体で「健康そう；元気な」というニュアンスである。
- ℓ. 4 ◇ manage = control; run 「～を切り盛りする；～を運営する」
 - ◇ the Isonos：このように, family name が複数形になって the が付くと「～家」という意味になる。
- ℓ. 5 ◇ catch the eyes of ～ = draw ～'s attention 「～の目を引く」
 - catch ～'s eye とも言う。
 - ◇ as well = in addition; also; too 「～もまた」
 - ◇ bringing out ～：分詞構文。ここでは「付帯状況」を表していて, and brought out ～ と書き換えてもほぼ同じ意味になる。
 - bring out = cause to develop
 - ◇ wave 「波」（ここでは, 比喩的に使われている）
 - ◇ best-selling：元々は「ベストセラーの」という意味だが, ここでは very popular に近い意味で使われている。
- ℓ. 6 ◇ study 「研究；学問」
 - ◇ academic = a member of a university or college who teaches or does research (学者)
 - ◇ who say ～：この関係代名詞は academics and scientists を受けている。
 - ◇ escapist 「現実逃避」
- ℓ. 7 ◇ entertainment 「エンターテインメント；娯楽」
 - 動詞は entertain で「～をもてなす；～を楽しませる」という意味。
 - ◇ barometer = something or someone that shows changes in public opinion 「動向を示す指標；バロメーター」
 - ◇ telling Japanese where ～.
 - telling は形容詞用法の現在分詞で, histories and social barometers にかかる。関係代名詞を使って, which tell Japanese where …としても同じ意味。
 - tell の作る構文に注意。tell A B で「A に B を教える」。ここでは Japanese が A で,

- where ~ go が B に当たる。
- where their country has been : 現在完了形が表す意味に注意。訳すときは「これまで～」とすると、そのニュアンスが出せる。
 - ℓ. 8 ◇ where it might go : 上の where their country has been と対比して、「これから～」という意味。might は「可能性」を表す。
 - ℓ. 9 ◇ date back to ~ = have lasted since ~ 「～にさかのぼる」
 - ℓ. 10 ◇ comic-like 「漫画のような」
 - このように -like という接尾辞は「～のような；～らしい」という意味を表す。
 - ℓ. 11 ◇ the adult ~ known as *manga* までが, have grown の主語。
 - ℓ. 12 ◇ almost = nearly “almost 40 percent” は「もう少しで 40% に届く」状態である。
 - ◇ publication 「出版物（本や雑誌などのこと）」
 - ℓ. 14 ◇ volume 「(書籍・コミックスなどの) 巻」
 - ℓ. 15 ◇ star = appear as a main performer 「主演する」
 - ◇ film = movie
 - ℓ. 16 ◇ boast = be lucky enough to own 「～を持っている（ことを誇りにする）」
 - be lucky enough の部分はそのまま日本語にすると不自然なので、文全体でそのニュアンスが出るように訳す。
 - ℓ. 18 ◇ rank 「(ある地位・身分などに) 位置する」
 - ◇ devoted 「没頭した；熱心な」
 - ◇ follower = admirer or supporter of some person, group, or belief
 - ◇ As a kid = When she was a kid
 - ◇ the 30-year-old Tokyo scientist
 - これは Akiko Ryu のことである。英語の新聞記事などでは、このように、主語を言い換えることによって、その人物の詳細を説明することがよくある。
 - ℓ. 19 ◇ catch every chance 「あらゆる機会をとらえる」
 - ◇ comic strip 「コマ割りマンガ」
 - ℓ. 20 ◇ recently = not long ago; lately 「最近」
 - 過去形の文の中でも、現在完了形の文の中でも使える。
 - ℓ. 23 ◇ any place they wish = wherever they wish
 - ℓ. 25 ◇ produce = show, bring out or offer for examination or consideration 「～を取り出す」
 - ◇ whatever wonderful tool he needs to ~
 - この部分が, produce の目的語である。
 - whatever ~ 「どんな～も；いかなる～も」
 - any wonderful tool that he needs ~ と書き換えることができる。
 - to : ここでは「～のために」の意味。副詞用法の不定詞。
 - help A out of B 「A を B から助け出す」
 - pal = a close friend
 - ℓ. 26 ◇ countless = very many

◇ Ryu says : 挿入的に用いられている。情報としては, Ryu says that the pocket is really attractive because ~と書いても同じだが, the pocket is really attractive という言葉に焦点を当てるために, Ryu says を後ろに置いたと考えられる。

ℓ. 28 ◇ the hope that ~ 「~という希望」

○ fuel 「燃料」(ここでは比喩的な意味で用いられている)

○ the postwar economic boom : 1950 年代後半から 1970 年代前半までの「高度経済成長」を指す。

ℓ. 29 ◇ boom = a rapid growth or increase

◇ if not A then B 「A でないにしても, B は」

◇ coming one 「次の世紀」

○ coming = arriving; that is coming or to come

○ one は century を受けている。

ℓ. 30 ◇ what = the things that (先行詞を含む関係代名詞)

【3】



整理しよう

解答・解説

テーマ別英作文：メディア

(1) It's hard to get (good) reception around here.

(2) His phone keeps diverting to his answering machine.

○ divert 「~の進路を変える」

(3) My spam filter doesn't seem to be working properly.

○ spam 「スパム」※受け手が望んでいない大量のメールを無差別に送ること。

(4) Twitter can be [is] a great way to spread critical information about important events.

(5) I need to delete the shots I don't want.

(6) That restaurant has been getting rave reviews [notices] in the newspaper.

○ rave *n.* 「べたほめ; 絶賛」

(7) These days I buy books on the basis of recommendations [reviews] on the Internet.

○ recommendation 「推薦」

テーマ別英作文：言語・文化・芸術

(1) The yukata is a cotton kimono for the summer [a summer kimono made of cotton].

(2) Writing, Buddhism and Confucianism were introduced from the Asian mainland, together with arts and crafts.

- Confucianism 「儒教」
- craft 「技術；手工業」
- (3) They received a standing ovation after they finished their performance.
- ovation 「大喝采」
- (4) The subject of her work is very controversial.
- controversial 「論争上の」
- (5) She has an amazing voice. It brings tears to my eyes.
- (6) The movie is nowhere near as good as the original book [piece].
- (7) I'm not particular about what music I listen to.
- 別解** I listen to any kind of music.

【4】

解答・解説

- (1) who 「彼の母だと思っていたその女性は、彼の姉だと分かった。」
The woman turned out to be his sister. + I thought *she* was his mother.
- (2) who 「今入ってきた背の高い女性の名前は何ですか。」
先行詞は name ではなく lady であることに注意。
- (3) which 「その背の高い女性の名前を思い出せない。有名な女優の名前と同じだと思っているのだが。」
(2) と異なり、先行詞は the name である。
- (4) what 「父が言うことには何らかの理由がある。」
which では意味が通じない。
- (5) which 「その会社は、値段を公表していないものの、新しいコンピュータを発表した。」
The company came up with a brand-new computer. + The price of *the computer* was unpublished.
- (6) which 「ドアの後ろには中庭があり、その向こう側には伝統的な茶室がある。」
Behind the door is the patio. + On the other side of *the patio* is a traditional tea house.
- (7) whose 「私たちは、虐待を受けた子を養子にした4人の人物にインタビューを求めた。」
We asked for four persons for an interview. + *Their* adopted children were abused.
○ abuse 「～を虐待する」
- (8) As 「想定されることかもしれないが、植物はまばらであるか、少なくとも驚くほど小さい。」
主節の内容を先行詞とする関係詞は as か which であるが、文頭に置けるのは as のみ。
Ex. As is often the case with him, he is late.
(彼にはよくあることだが、彼は遅刻している。)
○ vegetation 「植物」
○ scant 「十分でない；乏しい」

○ dwarfish 「並外れて小さい」

- (9) what 「微力ながらできる限りの助けをあなた方全員に喜んで与えましょう。」

関係形容詞 what は「全ての～」という意味を表す。

Ex. I gave him what money I had. (私は持っていた全てのお金を彼にあげた。)

- (10) as 「航空機は、他人に迷惑を及ぼすような方法で操縦してはならない。」

元来接続詞である as が, such ~ as ..., the same ~ as ..., as ~ as ... などの表現で関係代名詞のように用いられることがある。擬似関係代名詞とも呼ばれ as 以外に, than や but がある。

Ex. There is no rule but has exceptions. (例外のない規則はない。)

【5】

A.

解答・解説

- (X) 約5時間続いた停電は飛行機の離着陸を遅らせた。

- (Y) その停電は、約5時間続いたが、飛行機の離着陸を遅らせた。

- (X) (制限用法) では、停電は他にもあった可能性があり、その中でも5時間続いた停電のことを特定して言及しているが、(Y) (非制限用法) では、停電は1つしかなく、その停電が5時間続いたと補足的に説明している可能性がある。

○ stall 「～(車)を(エンストなどで)止まらせる；～(飛行機)を失速させる」

B.

解答・解説

- (1) Do you know anyone who you might think will be interested in our plan?

「我々の計画に興味を持ってくれそうな人を誰か知っていますか。」

- (2) The captain's arrogance worsened, which made the other members enraged.

「キャプテンの傲慢さがさらにひどくなって、他のメンバーの反感を買った。」

非制限用法の which には前文の内容全体もしくは一部を先行詞とする用法がある。

○ arrogance 「傲慢」

○ enrage 「～を怒らせる」

- (3) The Internet is a wonderful instrument, by means of which we can communicate with people all over the globe.

「インターネットは素晴らしい道具で、それによって世界中の人々とコミュニケーションをとることができる。」

by means of ～を一つの固まりと見る。

- (4) My teacher was greatly surprised at the ease with which I solved the math problem. 「先生は私がその数学の問題を簡単に解いたことに非常に驚いた。」

with ease = easily を利用する。

- (5) You should read such books as will broaden your knowledge.

先行詞に such があることから、疑似関係代名詞 as を用いる。

C.

解答・解説

- (1) whose (2) which (3) 代名詞 (4) its (5) 形容詞
(6) this [that ; the]

関係代名詞 whose と関係形容詞 which の違いはやや難しいが、理解しておこう。

【6】

解答・解説

- (1) c 「自分が正しいと思っていることをやった。」
what (I thought) was right と考える。
- (2) d 「あれは、父が少年時代に過ごしていた家だ。」
= That is the house (*which*) my father lived *in in* his boyhood.
- (3) a 「そのような素晴らしい作品が生み出される状況は、いまだに知られていない。」
The conditions remain unknown. + These fine works are created *under the conditions*.
- (4) a 「何も見返りを期待できない貧しい人々のために彼女は自分の残りの人生を捧げた。」
She devoted the rest of her life to the poor. + She could expect no reward *from them*.
- (5) c 「『児童虐待』という言葉には、子供が親やその他の大人たちによって虐待される犯罪も含まれている。」
The term “child abuse” implies a crime. + Children are abused by their parents or other adults *in the crime*.
- (6) c 「ついに私たちはある街に着いたが、その街の真ん中には高い塔を持つ教会があった。」
Finally we arrived at a town. + *In the middle of the town* was a church with a tall tower.
- (7) b 「ミャンマー連邦（ミャンマーの1989年からの国名）は、135の国の種族から成るが、その主な種族はカチン族、カヤー族、カレン族、チン族、バマー族である。」
The Union of Myanmar is made up of 135 national races. + The main national races *of the 135 national races* are Kachin, Kayah, Kayin, Chin, and Bamar.
- (8) d 「食物カロリーの過剰な消費は、一般的に肥満の主な原因と見なされている。そしてその治療にはダイエットとエクササイズが含まれる。」
Excessive consumption of dietary calories is commonly billed as the main cause of obesity. + Treatments *for obesity* include dieting and exercise.
○ dietary 「食事の；食物の」
- (9) c 「自分自身の邪悪な心が持つ罪の意識ほど確信できるものは何もない。」
There is nothing else. + You can be so sure *of it* as the sin of your own evil heart.

(10) **b** 「教授は遅れるかもしれないが、その場合、私たちは彼女が来るまで待たなければならない。」

この which は関係形容詞であり and + that で書き換えられる。

= The professor may be late, *and* in *that* case we have to wait for her to come.

(11) **d** 「彼女の成功は、チームメイトが彼女をどの程度助けてくれるかにかかっている。」

Her success depends on the degree. + Her teammates will help her *to the degree*.

(12) **c** 「諸君たちが英文法を学習した素早さに私は驚きました。」

I was astonished at the rapidity. + You all learned English grammar *with rapidity*.

今日の一言

Keep no more cats than will catch mice. 「ネズミを捕る以上に多くの猫は飼うな。」

この than は関係代名詞と考えることもできる。また、クジラの公式 (A is no more B than C is. (C 同様 A は B でない) ではないので注意する。

さて、人生には役に立たないものがある。もちろん、実際には予想外の有益性を持ちうるものもあると思う。しかし短い人生、殊に受験においては、余計なことをやっている暇はない。必要以上に参考書を買って揃えたり、問題集を余分に買ってしまふ必要はない。まずはこのテキストを 100% 消化することに全力を尽くそう。

添削課題

全訳

私たちの周りで物事がどんどん変化していくそのスピードの速さを考えると、多くの人々が何を手放さず何を捨てればよいのか、古い生活の最も良いものを失う事なしに、新しい生活をどのように利用すればよいのか、途方にくれて決めかねているのも驚くことではない。

解説

- ◇ because of ～ 「～のために；～のせいで」
- ◇ the speed at which things are changing 「物事が変化していくスピード」
- ◇ feel lost 「当惑する」
- ◇ (feel) unable to … と補って考える。「…できないと感じる」
- ◇ decide は *what to* … and *what to* …, *how to* … のそれぞれを目的語にとる。
- ◇ what to *do* 「何を…すべきか」
- ◇ throw away 「～を捨てる」
- ◇ how to *do* 「いかに…すべきか」
- ◇ take advantage of ～ 「～を利用する」
- ◇ the old (life) と補って考える。